

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【1年目】

P T A名	静岡県立浜松みをつくし特別支援学校P T A
学 校 名	静岡県立浜松みをつくし特別支援学校 <input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱
設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部 <input checked="" type="checkbox"/> 小学部 <input checked="" type="checkbox"/> 中学部 <input checked="" type="checkbox"/> 高等部
全校児童・生徒数	小学部 99 人 中学部 43人 高等部 115人 合計 257人

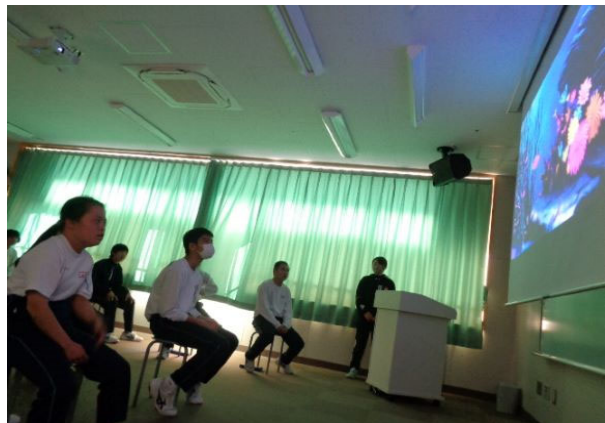
1. 使用状況

寄贈物品名	プロジェクター&音響機器一式
使用学年及び人数	中学部1年 10人、中学部2年 16人、中学部3年 17人
使用頻度	月に1回以上、不定期
使用状況	校内施設の利用割振りにより中学部が主に利用した。 授業の導入や振り返り、学期末のまとめなどスライドや動画視聴で使用した。
物品の使用による変化や効果	教師の言葉掛けや身振りだけでなく、イラストや動画視聴を行うことで、生徒の興味や関心を高めることができた。また、生徒自身が撮影したデータをすぐに拡大して投影し、視聴できることも有効だった。
今後の活用の見通しや課題	授業内容などについて生徒の興味、関心を高める効果が期待できるため、より計画的、定期的に活用していく。また、活用には保護者会や教職員の研修会にも活用していきたい。活用についての周知を定期的に行っていく。
その他希望や所感など	懇談会で保護者へ生徒の様子を動画を交えて伝えることにも有効だと考える。積極的な利用を考えていきたい。

2. 活用の様子



授業の説明を視覚化することで、生徒たちも、これから何をするのか見通しを持つことができた。



画面を集中して見る生徒たち。



自分たちでミュージカルをやろう！と意気投合する生徒たち。



ミュージカルの題材であるアニメを視聴しながら、自分自身がやりたい役を考える生徒たち。